

第47回 安全工学シンポジウム
(安全工学シンポジウム2017)
「安全な社会を支える人と技術」

主催 日本学術会議 a

共催 安全工学会、他 33 学協会

会期 2017年7月5日(水)6日(木)、7日(金)

会場 日本学術会議

(東京都港区六本木7-22-34) [交通] 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

特別講演

7月6日(木) 10:40~11:40 (予定)

「水素社会の安心・安全を支える材料評価技術」

小林英男 氏 (高圧ガス保安協会、東京工業大学名誉教授)

7月6日(木) 12:40~13:40 (予定)

「生活者参加で創り出す進化適応型の社会安全」

持丸正明 氏 (産業技術総合研究所)

パネルディスカッション

- ・ 安全工学グループの創設と今後の展開
- ・ 工学システムの社会安全目標の実用化
- ・ 安全な社会を支える人と技術 (連携PD)
- ・ 今求められている技術者向け機械安全の教育

オーガナイズドセッション

1. 教育研究機関の環境安全教育
2. 水素利用技術の安全評価研究の動向
3. 機械安全の原点に戻る
4. スマートグリッド構築を見据えた電気設備分野の安全安心技術
5. 老朽・遺棄化学兵器廃棄の安全と環境の保全
6. 安全・安心な社会をめざして～事故防止のあり方を考える
7. i-Construction と安全
8. ガイド50を活用する子どもの安全
9. 車の自動運転
10. 安全学の教育体系と安全資格者制度の試み
11. Think Safety First again その2
12. レジリエンス
13. ヒューマンファクターから見た自動車の自動運転

14. リスクへのセンス向上手法の研究（仮称）

15. 経年化した地下貯蔵タンクの腐食対策

一般セッション 44 題程度

参加方法： 自由参加。当日直接ご来場下さい。入場無料です。

講演予稿集： 当日会場で実費頒布します（一般 5,000 円，学生 2,000 円）

懇親会： 7月6日（木）16：10～18：00（予定）

会費 4,000 円（予定）

問合先事務局：

特定非営利活動法人 安全工学会

TEL：03-6206-2840，FAX：03-6206-2848

E-mail anzen2017@gakkai-web.net

<http://www.anzen.org/index.html>